土の日 大分建設新聞 フォトコンテスト

OKS PHOTO CONTEST 2026年度

結果発表

「土木の日、大分建設新聞フォトコンテスト」にたくさんのご応募、誠にありがとうございました。

メール、インスタグラム、Xから応募を受け付け、高校生を含みます県内外の幅広い年齢の方々から、力作が寄せられました。改めてお礼申し上げます。

11月４日、大分市の大分県建設会館にて、県美術協会写真部顧問の芦刈博美先生を審査委員長に厳正な審査を行いました。審査委員長をはじめ各委員も、甲乙つけがたい作品を目の前にし、選考に苦慮した次第であります。

これからも大分建設新聞社をはじめ、大分県建設業協会と同青年部会、BUILD OITA（おおいた建設人材共育ネットワーク）、大分県土木施工管理技士会では、建設関連産業の魅力発信のため、さまざまな活動に取り組んでまいります。

①撮影場所または施設名
②作品についてのコメント
③審査委員長の講評

最優秀賞

未来へ架ける二本足

古庄 恵理（34）／㈱大鐵



①下郡高架橋　第1-9号街路改築工事
②上空から撮影した橋梁工事の全景です。大分の街づくりと人々の暮らしを支えるため、今日も安全第一で丁寧な工事を進めています。
③遠近感が巧みに表現されている。バックに由布岳・鶴見岳、大分市内の市街地が映っており、宗麟大橋から伸びている橋がインパクトを与えている。見飽きない写真である。

優秀賞

成長する大分のランドマーク

下鳥 亨(63)
㈱明光商会



①プレミストタワー大分
②CITY SPA てんくうから望む大分駅前。建設中の高層ビルが空へ向かって伸びる姿に、発展を続ける大分の未来と街づくりへの期待を重ねた。
③天気が良く、別府まで見通せる素晴らしい写真。タワークレーンも写っており、建設の過程を見ることができ、発展する大分市中心部を象徴している。

大分県建設業協会長賞

夜間工事

杉瀬 豊（80）／一般



①下郡バイパス
②夜間通行止めをしての工事の様子を撮影した。
③夜の写真は撮るのが難しい。非日常感も相まって、素晴らしい写真。作業員の姿が見え、夜間工事の大変さも表れている。今しか撮れない写真。

大分県建設業協会青年部会長賞

命を守るヘルメット装着完了

秋好 杏美（26）
角栄建設工業㈱



①土木建築フェスタ会場（トヨタカローラ大分祝祭の広場）
②建設業の楽しさや、これからの未来を創る子どものキラキラした目！素敵な瞬間を写真に収めることができて嬉しいです。
③ヘルメットをかぶる子どもの緊張感が表現されている。またあごひもを締めるスタッフのやさしさが見て取れる。

佳作



大分から熊本へ続く道

平 吉展（61）／㈱友岡建設

①竹田市岩瀬
②11月28日に滝室坂トンネルが開通。竹田市内でも中九州道路の工事が着々と進んでいます。早期の全面開通を心待ちにしています。



かるがる４トン

大石 貢（53）／㈱平和建設

①大分市日吉原
②海の安全を守る技術者たちの頼もしさを表現しました。当然ですが、実際は４ｔなので指先ひとつではビクともしません。



別府タワーに咲く花

村上 歩夢（37）一般

①別府タワー
②べっぷ火の海まつりの花火です。タワーを主役に撮影しました。



現場を切り取る額縁

野仲 希（32）
㈱ラックワイド

①由布市庄内町
②マスにあけた穴を額縁に見立てて撮影。青空の下、三人の作業員と一台の重機が力を合わせ、Ｕ字溝を据える現場を切り取りました。



中津日田道路橋脚群

川原 康幹（38）／㈱川原建設

①中津市本耶馬渓町西谷（中津日田道路建設現場内）
②中津日田道路の橋脚が等間隔に並び、橋脚が開通を待っているようだなと思いました。中津日田道路の早期開通を願っています。

BUILD OITA 会長賞

次代を見つめて

櫛間 小梅（21）／日本文理大学生



①大分市大分川河川敷（国道197号付近）
②通学路で見かけた河川敷の工事現場。ベテランの方が最新の重機を見つめる姿に、培われた技術と新しい技術が共存する、建設業の未来を感じました。
③後輩を見つめる先輩の優しいまなざしが見て取れる。建設業の技術や技能が、こうして継承されているということが分かる写真。

BUILD OITA いいね賞



変わらない景色

関谷 早織（18）／大分工業高校生

①ＪＲ豊肥本線の敷戸駅跨線橋
②３年間、毎日の通学で見てきた変わらない景色。いつも当たり前にあったこの風景に感謝し、思い出とともに写真に残しました。
③いつも日常の中にある景色こそ、被写体になる。一日の始まりと終わりに見る景色に感謝する心を持つことは素晴らしい。

総評



審査委員長　芦刈 博美
（大分県美術協会写真部顧問）

回数を重ねるごとに応募作品が洗練されてきている。建設業関係者からの応募写真は、よく考えられて撮影されており、選考に苦慮した。これからも多くの写真を撮って、建設業界を盛り上げてほしい。

応募点数76点（メール・X・インスタグラム）10/26朝の時点に確認できた合計数です。

・審査
第1次：10/27　第2次：11/4

・第2次審査委員
佐藤啓治（BUILD OITA アドバイザー）
浦辺裕二（県建設業協会専務理事）
BUILD OITA 事務局
（大分県建設業協会・大分県建設技術センター）
川邉伴子（㈱大分建設新聞社代表取締役）